

農大だより

1年生川まつりボランティア 7月25日

7月25日(木)、諫早川まつりが本明川周辺で行われ、1年生39名が灯ろう設置のボランティア活動に参加しました。夕方、土砂降りの雨により、蒸し暑い中で学生たちは頑張りました。メジャーで測りながら800個の灯ろうを1個ずつ設置し、20時のサイレンの合図で、ろうそくに火をつけ完成させました。幻想的な風景に感動し、みんなで花火を鑑賞してから後片付けをしました。



灯ろうに火をつける



きれいに完成した灯ろう

2年生北海道研修 7月8日～12日

7月8日(月)～7月12日(金)の日程で、2年生29名が国内研修(北海道研修)を行いました。内容は2泊3日のファームステイや各学科の学習内容に関連する施設の見学・体験を行いました。長崎にはない大規模な農業経営や大自然を満喫することができました。また、小樽や札幌市内では自主研修により北海道の歴史や文化に触れ、楽しい思い出がたくさんできました。



Boys and Girls, be ambitious!



花きコースの研修先で



ファームステイ解散式



果樹コースの研修先で



野菜コースの研修先で



畜産学科の研修先で

ホームページにも最新情報満載!!

URL : <http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html>

E-mail : noudai@pref.nagasaki.lg.jp

農大カレッジ

7月13日～14日

7月13日(土)・14日(日)の1泊2日の日程で、県内の高校生を対象に農大体験カレッジを実施しました。参加生徒は男子17名、女子7名の24名で、保護者7名を合わせて31名の参加がありました。24名の生徒のうち14名が寮での宿泊体験もしました。

1日目は、希望する学科・コースに分かれて実習体験を行いました。夜には飛雲寮の食堂で、グループに分かれて農大の1年生と交流を行いました。学生から学校や寮での生活について直接、話を聞くことができ有意義な時間となりました。

2日目は大雨の中での研修となりましたが、研修部の車庫を活用しながらトラクターの体験試乗を行うことができました。学科・コースの貴重な体験や寮生活も経験でき、農大をより深く知ることができる貴重な機会となりました。



野菜コース「収穫後はやっぱり味見!」



花きコース「花芽がまっすぐになるように!」



果樹コース「この桃は美味そう!」



畜産学科「アイスクリーム作りに挑戦!」



研修部「車庫でのトラクター研修!」



飛雲寮で1年生と交流会

農大体験カレッジに参加した生徒の感想

- ・先輩方とお話をする機会がたくさんあったので、日常生活や受験のこと、学校の授業について、たくさん話を聞けました。
- ・先輩方も丁寧で、親切にやり方を教えてくださって、とても分かりやすく野菜コースのことを知ることができました。
- ・宿泊体験をして、先輩方がとても優しく部屋もとてもきれいで、ご飯も美味しかった。
- ・今回の体験で農大へ進学したい気持ちがとても強くなりました。

発行日 令和6年10月21日

Vol. 2

発行者 長崎県立農業大学校

所在地 〒854-0062 諫早市小船越町3171

TEL 0957-26-1016 FAX 0957-25-3871

九州地区親善体育大会 9月12日～13日

九州地区農業大学校体育大会が9月12日(木)・13日(金)の2日間、宮崎県民総合運動公園を中心に九州8県、学生600名、関係職員102名の参加で8競技が行われました。

本校からは6競技に68名の学生が参加し、10名の職員が引率しました。親善体育大会に向け練習に励んだ部もあり、有意義な素晴らしい大会となりました。

どの競技も他県との親睦を深めながら、随所に白熱したプレーが見られ、互いを思いやる姿やハツラツとしたプレーは農大生のつながりしと心意気を感じられました。楽しい思い出がたくさんできた二日間でした。

本校の試合結果 優勝……ロードレース団体(陸上)

準優勝……バレーボール、バドミントン男子Bチーム

3位……軟式野球、バスケットボール、400mリレー



優勝したロードレース 団体



準優勝のバレーボール



準優勝のバドミントン



3位の軟式野球



3位のバスケットボール



卓球



参加者全員で記念撮影

九州自治会等リーダー研修会

6月19日・20日

九州地区農業大学校自治会等リーダー研修会が6月19日(水)・20日(木)に大分県立九重青少年の家で行われました。この研修は毎年、各県持ち回りで行われ、今年は大分県が担当でした。研修目的は「九州各県の農業大学校自治会等のリーダーが一堂に会し、学生自治会活動の活性化等について意見交換や学習活動を行うことで、学生間の交流を深めるとともにリーダーシップの醸成を図るもの」です。各県から自治会リーダー37名(学生)と指導・引率職員17名、合計54名の参加がありました。本校から前田善行会長、本多佑成副会長、村上敦美副会長、山田夕季副会長、烏山助教教授の5名が参加しました。

1日目は開会行事、各学校の概要紹介、グループディスカッションが行われました。グループは各県バラバラで5~6名の班で編成され、テーマは「自治会活動を活発にするために」と「九州スポーツ大会のあり方について」でした。

2日目は前日にグループディスカッションで話し合われた内容を発表しました。2日間寝食を共にしたことで、農業にかかわる仲間としての意識が高まり、コミュニケーションも自然に増えて交流が深まったと思います。



九重”夢”大橋の前で



長崎農大の紹介をする学生



グループディスカッション



九州スポーツ大会について考える



みんなの前で発表



九重青少年の家の前で

【参加した学生の感想】
 ◎ 今回の研修で各県農業大学校の概要等紹介がとくに勉強になり、自分たちに足りていないと思ったことがたくさんありました。グループディスカッションでは積極的に参加でき、普段、思いつかないようなアイデアを提案できたりしたので、残り少ない自治会活動に活かしていきたいです。
 ◎ 参加する前までは不安な気持ちがあったが、コミュニケーション能力が高い班のみんなに助けもらった。全体の前で発表する経験もできたので良かった。
 ◎ 福岡県や大分県などいくつかの農大は、長崎農大と比べるとイベントや自治会活動が活発であるように感じた。自分たちの活動にも取り入れてみることも必要なのかなと感じた。

小型建機(バックホー)特別講義

8月26日・27日

8月26日(月)・27日(火)の2日間、(株)クボタ建機ジャパン長崎営業所による3t未満小型車両系建設機械に係る特別教育(バックホー研修)が農業大学校で開催され、本校の学生11名と一般受講者6名の17名が受講しました。

初日はテキストを用いて、エンジンなど建設機械各機器の構造や原理、取扱い方法、また、点検、移送方法や関係法令など学び、講義の最後にテストが行われました。

2日目は、暑い中の圃場での実技研修でした。各自バックホーに乗り、指導を受けながら曲がり方、掘削や方向転換など講師のアドバイスを受けながら操作を学びました。

初めて操作する機械でしたが、実技では学生の理解も早く、乗るたびにスムーズな操作を行っていました。

学生生活の間に、今回の研修のように資格を取得できる機会が多くあります。学生の皆さんには、積極的に資格試験へチャレンジし、知識や技術の取得に励んでもらいたいと思います。



初日 テキストでの研修



2日目は猛暑の中での実技でした



講師から指導を受ける学生



動き出した時はドキドキでした



徐々に操作のコツがつかめました



時間が経つにつれスムーズな操作ができた

学生会役員引継ぎ式

9月11日

学生会引継ぎ式が9月11日(水)に第1教室で行われました。まず、前田善行会長より「皆さんのご協力により会長を無事に務めることができました。ありがとうございました。これから新しい役員に引き継ぎますが、これからも皆さんのご協力が必要ですので引き続きご協力をお願いします。」とあいさつがありました。その後、旧役員一人一人から退任のあいさつがあり、会場からは大きな拍手がありました。

新役員について新会長候補の川尻琥大朗君から提案がなされ、全会一致で承認されました。新会長に承認された川尻君から「学生会が少しでも盛り上がるように頑張ります。」と力強いあいさつがありました。その後、溝口校長より旧役員に対する労いと新役員に対する激励の言葉がありました。新役員の任期は令和6年9月引継ぎ式から令和7年9月の引継ぎ式までとなります。新役員は以下の通りです。



挨拶をする前田会長



退任の挨拶をする役員



新学生会役員のメンバー



激励の挨拶をする溝口校長

新学生会役員

会長	川尻 琥大朗
副会長	永尾 颯大
〃	山下 柚季
〃	一瀬 剛毅
書記	山口 隼人
会計	徳永 琢真
監事	森高 駿
生活委員	板山 駈
文化委員	住田 晃人
防火安全	田崎 孝太



学生会長 川尻君



副会長兼男子寮長 永尾君



副会長兼女子寮長 山下さん



副会長 一瀬君

野菜コース



林田 秀廣 (島原農高卒)
雲仙市国見町

「メロンの立体栽培における品種比較と有機・化学肥料の比較」

メロン4品種を1株1果どりの立体栽培で行い、有機肥料と化学肥料とで外観や品質、食味等を比較検証します。



前田 湧介 (諫早農高卒)
諫早市森山町

「トマト黄化葉巻病抵抗性品種と非抵抗性品種の比較」

トマトの黄化葉巻病抵抗性品種の「レイキ」と非抵抗性品種の「レイヨウ」を供試し、生育や収量、品質について調査しています。



前田 善行 (波佐見高卒)
大村市坂口町

「イチゴ栽培における苗の大きさが生育・収量に及ぼす影響」

定植時のイチゴ苗のクラウン径の大きさにより、大苗・中苗・小苗に分けて、その後の生育・収量にどのような影響を及ぼすか検証しました。



町田 伊聡 (鎮西学院高卒)
雲仙市千々石町

「スナップエンドウの品種比較と寒害防止対策」

品種による生育・収量の違いについて検証しました。また、厳寒期に寒害が発生するため、被覆資材を用い、被害軽減対策を実証しました。



村上 敦美 (創成館高卒)
長崎市深堀町

「カボチャの品種比較」

カボチャの「くり姫」「くり將軍」を地這いやネット誘引により栽培し生育や収量・品質の違いを比較します。



森田 真 (島原農高卒)
島原市有明町

「ニンニクの品種、平戸と嘉定の生育比較」

暖地向けの主要品種である「嘉定」と地元品種の「平戸」について、生育状況や収量等を検証しました。

率論テーマ特集号

～野菜コース・花きコース・果樹コース・畜産学科編～その2



山村 航大 (島原農高卒)
南島原市北有馬町

「イチゴの早期出荷技術の検討」

イチゴ「恋みのり」を用い、株冷Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型と普通ポットにおいて、生育、収量、収穫時期等にどのような違いがあるか検証しました。

花きコース



本多 佑成 (島原工高卒)
島原市有明町

「3月出し秋ぎく栽培におけるEODヒーティングを応用した省エネルギー生産の検討」

3月出しの秋ぎく生産では、暖房負荷が大きく暖房費の負担が大きいため、EODヒーティングを応用した省エネルギー生産について検討しました。



濱崎 樹梨 (西彼農高卒)
佐世保市有福町

「スタンダード系カーネーションの疎植栽培が切り花本数および品質に及ぼす影響」

ST系カーネーションの慣行栽培ではSP系カーネーションと比較して50%多く定植します。そこで、同じ栽植密度となるように疎植した時の切り花本数と切り花の品質について調査しました。

果樹コース



坂本 啓太 (諫早農高卒)
諫早市多良見町

「早生ミカン『原口早生』における高品質生産技術の検討」

「原口早生」を用いてと後期重点摘果や葉面散布剤施用による高品質生産技術の検討を行っています。就農後に役立つよう頑張っています。



田崎 優士 (諫早農高卒)
東彼杵郡波佐見町

「レモン「璃の香」の加工品としての評価について」

かいよう病に強く減農薬栽培が可能なレモンの新品種「璃の香」について、ゼリー等に加工した場合の食味を評価した。プロジェクトの実施で、将来の進路に役立つよう頑張っています。

畜産学科



小野田 星李 (西彼農高卒) 長崎市琴海村松町

「子豚への鉄分経口給与の検討」

出生した子豚は急速な発育のために体内の鉄分が不足し、貧血症状を示してしまうため、鉄剤を筋肉注射により補う方法が一般的です。しかし、子豚の捕獲や注射作業の省力化及びアニマルウェルフェア(動物福祉)の観点などから、鉄剤を経口給与する方法の有用性について検討しています。



吉崎 蒼太 (諫早農高卒) 東彼杵郡川棚町
「簡易ビタミンA測定器を活用した黒毛和種肥育牛のビタミンAコントロールとロース芯面積拡大のための取り組み」

肥育牛の肉質向上のためのビタミンAコントロールは、外貌や活力を参考に経験によって行われますが、事故発生等のリスクを伴います。そこで、畜産研究部門が開発した簡易ビタミンA測定装置で血中ビタミンA濃度を測定してもらい、その結果を活用するとともに、ロース芯面積拡大に向けて、バイバスマミノ酸を添加し、質量兼備の肥育牛出荷を目指しています。



吉田 悠聖 (西彼農高卒) 西海市西海町

「低コスト飼料および繊維分解酵素を活用した肉豚生産技術」

飼料費低減の一つの方法として、肥育後期豚に、配合飼料の一部を大麦ぬかと米ぬかで代替した飼料を給与する方法が報告されています。しかし、排糞量の増加が懸念されることから、さらに繊維分解酵素を添加することで、低コスト飼料かつ排糞量の低減と増体効率を高める肥育技術を検討しています。

～農大入学試験の案内～

出願資格 高等学校を令和7年3月卒業見込の者。又は、これと同等以上の学力を有すると知事が認めた者。年齢制限はありません。

1次募集

出願期間 令和6年10月25日(金)～11月15日(金)
試験日時 令和6年12月6日(金) 9:00～15:00
試験科目 (必須) 現代の国語・言語文化、数学Ⅰ
(選択) 生物基礎、化学基礎、農業から1科目
※農業は、園芸、畜産 どちらか選択
集団討論、個人面接

2次募集

※充足次第では実施しない場合もあります。
出願期間 令和7年2月7日(金)～2月21日(金)
試験日時 令和7年3月5日(水) 9:00～15:00
試験科目 (必須) 小論文(800字程度)、数学Ⅰ
集団討論、個人面接

●出願は、住所を管轄する各振興局農林水産部が窓口です。
お問い合わせは農業大学校教務課へ
電話：0957-26-1016